

# 2020年版ちひろカレンダー普及ニュース

発行：原水爆禁止神奈川県協議会 横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A  
Tel 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577 Mail- kana-gensuikyo@gol.com 発行日：2019.10.24 No. 1

## ちひろカレンダー5000本、 原発事故被災者贈呈500本を 5500本の普及必ず！

いわさきちひろの描く子どもの絵には、だれもが幾度となく出会い、心癒された記憶があること  
でしょう。55年の波乱万丈の生涯とあの心惹かれる絵について、いま、多くの人にとらえなおし、  
注目が集まっています。

「子どもは命であり未来。そして、その子どもを苦しめる戦争だけは絶対に許してはならない」  
ちひろの生涯はこの想いを貫き通します。

### もっともっと、ちひろの絵を、カレンダーを広げましょう！

今年も“ちひろカレンダー”普及の季節となりました。今から、50数年前、ベトナム戦争が激  
しかった時、「ベトナムに広島・長崎を繰り返させるな」の原水協の呼びかけがきっかけとなり、  
核兵器廃絶の「ちひろカレンダー」が誕生しました。

いわさきちひろさんの「優しく透明な絵に込められた子どもへの限りない愛」「1枚の絵に命の  
大切さ、平和への思い」が、今注目されています。

ちひろカレンダーを若い世代に広げ、平和の力、核兵器禁止条約実現の声をもっともっと広げよ  
うではありませんか。

★注文がまだの団体や地域原水協は、  
早めの注文をお願いします。

★原発事故被災地にちひろカレンダー  
を贈る募金もよろしくお願いします。



### ちひろカレンダーの普及が 原水協を財政的に 支えています

いわさきちひろさんは、生前から核兵器廃絶運動に温かい  
理解と支援を送っていました。その思いが“ちひろカレンダ  
ー”に結実しました。ちひろカレンダーの普及の中で原水協  
運動を財政的にも支えていただいております。

歴史的に原水爆禁止運動は、市井の人々の募金で活動を続  
けてきています。それは、今も変わりません。その活動のひ  
とつが“ちひろカレンダーの普及”活動です。

神奈川県原水協もちひろカレンダー普及で財政的に支えて  
いただき、活動を続けることができます。ぜひ、この面  
からもカレンダー普及に温かいご支援を心からお願いします。

### こんな取り組みも始まっています ～NPT派遣費用募金もかねて普及～

川崎医療生協では、毎年、ちひろカレンダ  
ー普及に取り組んでいますが、今年は、特別  
に力を入れて普及しようと、取り組みを強め  
ています。川崎医療生協は、来年のNPT再  
検討会議・世界大会inニューヨークに3人の  
代表を送ることを決めています。この代表派  
遣費用の募金活動が始まっていますが、その  
一つとして、ちひろカレンダーの普及に力を  
入れています。

### ちひろカレンダー 現在(10/24)の普及本数

# 2,455本

福島にカレンダー贈呈募金もよろしく。